

久美浜湾の二枚貝エサ環境に関する論文掲載

久美浜湾で実施した二枚貝養殖環境に関する研究成果をまとめた論文が学会誌に受理され、6月にWEB上で公開されました。

本研究は、久美浜湾(閉鎖性海域)における養殖二枚貝のエサ環境の季節変化を数年にわたる海洋観測により明らかにしたものです。特に夏において、エサである植物プランクトン(クロロフィル)が利用しづらい深度に局在しているために、二枚貝がエサ不足に陥っている現状を指摘しました。一方、冬の深度調整により、エサ環境が改善される可能性が示されました。

今後は、舞鶴湾や宮津湾、栗田湾における二枚貝養殖漁場の高水温問題についての研究をまとめる予定です。

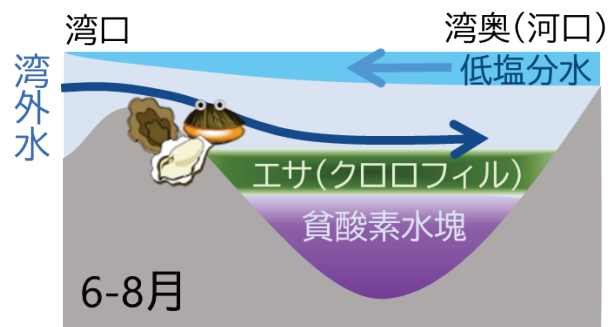
※研究の詳細は以下のURLで閲覧できます。

論文:<https://doi.org/10.34423/jsfo.89.1.17>

関連ニュース:[汽水湖のデッドゾーンを追え「丹後とり貝」タッグで環境に挑む【京都府】:朝日新聞](#)



調査中に漁業者と情報交換する様子



研究成果の模式図